

● 移住交流支援センターだより ●

NPO法人
グリーンバレーの
伊藤・林が
お届けします。



お問合せ
☎676-1177
IP: 2028

空き家相談会を

開催しました

5月31日(月)に、神山町役場にて空き家相談会を開催し、2件の相談がありました。また4月以降、他にも5件の空き家相談が個別にセンターに寄せられています。相談内容は、賃貸・売買についての具体的な相談から、空き家をどうしたらいいかわからないといった、漠然としたものまで様々です。引き続き、役場産業観光課

今回の空き家相談会

日時：令和3年8月16日(月)

9時～15時

場所：神山町役場2階鶯宿

空き家から出るモノを再利用 「モノストック」オープンデー

7/31(土) 9時～12時
8/27(金) 9時～12時
神領青井夫・旧国道沿い



または移住交流支援センターにて、空き家相談を随時受付しています。お気軽にご相談ください。

今月のインタビュー

令和3年2月に移り住まれた永井さん夫婦をご紹介します。おふたりはハンドメイドによるセーターの製造、及び販売を生業としています。下分で空き家だった古民家を借り、住居兼アトリエとして大きく改修を行いました。

〈移住する前の暮らし〉

15年ほど前に、絵画やデザイン勉強をするためベルギーに留学しました。一度ベルギーで就職しましたが、不況のあおりを受けて3ヶ月で解雇されてしまいました。これを機に一度全部自力でやってみようと思い、起業したのが、セーター作りを始めたきっかけで

す。経済的にも厳しい時期もありましたが、徐々にベルギー国内で販路を広げていきました。その後、社会情勢の変化や販路の多くが日本になったことから平成30年に帰国しました。

神山町出身の工藝店のオーナーさんのすすめもあり、田舎の原風景が残っている神山ならセーター作りの環境を整えられると思い、アトリエやショールームが作れる空き家を探しました。

〈改修工事について〉

借りた空き家は、雨漏りで壁が崩れていたりしましたが、お願いした町内の設計士さんが丁寧に改修の相談にのってくれました。昔の柱や天井をそのまま活かすのに加えて、作業スペースには、可能な限り自然光が入るように全面ガラス戸を入れてもらいました。大部分を町内の大工さんに

りもしました。また、敷地内の崩れていた石積みは、石積み学校に相談すると、ワークショップ形式できれいに修復してくれました。

〈仕事について〉

現地まで探しに行ったイタリア製のウール糸と日本製のシルク糸を使い、「手横編み機」と呼ばれる編み機でセーターを作っています。編むところから完成までの工程をすべて自分たちで行っています。



手横編み機で編んでいる様子

〈今後の抱負〉

大作 今までと変わらず2人でセーターを作り続けていくだけです。趣味が自転車なので、オフの日には県内を走り回っています。実は神山町内の林道は全て制覇しています。

はま子 目の前のセーター作り集中しつつ、合間には、コッコツお庭をきれいにしていきたいです。土いじりの経験は少ないですが、自生している植物を知ることから始めて、新たな発見があるのが楽しいですね。

永井 大作 徳島県出身
はま子 大阪府出身
下分大久保在住



お願い、自分たちでお互い、お気に入りの柄に貼替えた



改修したアトリエ

新規移住相談件数

4月：14件
5月：11件

